平成29年度下半期 財政の状況
（29年10月1日～30年3月31日）

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、29年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計（水道事業）は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて30年3月31日現在のものです。29年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

29年度の予算現額は、433億3978万円です。

執行状況は図1のとおりで、歳入では収入率が92・3％、歳出では執行率が86・4％となっています。

施策の大綱ごとの主な取り組み

健康と福祉の充実

大腸がん・乳がん・前立腺がん検診の定員枠を拡大しました。また、待機児童解消のため、保育園の改修工事費の補助を行いました。

明るい地域社会の形成

振り込め詐欺の被害を未然に防ぐため、電話機に接続する自動通話録音機を購入し、高齢者世帯に貸与しました。また、防災行政無線のデジタル化に向け、無線送受信装置などを配備しました。

▲自動通話録音機

教育・文化・スポーツの充実

（仮称）教育福祉総合センターの開設に向け、整備工事に着手しました。また、小・中学校の校内LAN整備工事を行いました。

産業の活性化

ものづくり企業への継続支援として、工場の改修費などの一部補助を行いました。また、市内商店街の空き店舗への出店希望者を対象に補助を行いました。

循環型社会の形成

ごみ減量啓発チラシを全世帯に配布しました。また、食品廃棄物を減らすための啓発ポスターとチラシを市内飲食店に配布しました。

▶ごみ減量啓発チラシ

図1　29年度一般会計　予算の執行状況

歳入　予算現額 433億3978万円　収入済額 400億 194万円（収入率 92.3％）

上段：予算現額　下段：収入済額（収入率）

市税（市民税・固定資産税など）	190億7440万円	190億8273万円（100.0％）
地方消費税交付金（地方消費税収入の配分金）	22億7800万円	23億8968万円（104.9％）
地方交付税（普通交付税・特別交付税）	4億8320万円	4億7080万円（97.4％）
使用料及び手数料（施設使用料など）	8億9797万円	7億9741万円（88.8％）
国庫支出金（国からの補助金など）	90億7028万円	76億 568万円（83.9％）
都支出金（都からの補助金など）	59億9040万円	56億9328万円（95.0％）
市債（国・都などからの借金）	18億3620万円	5億9370万円（32.3％）
その他（繰越金、繰入金など）	37億 933万円	33億6866万円（90.8％）

※前年度からの繰越財源（7億6188万円）を含みます。

歳出　予算現額 433億3978万円　支出済額 374億3681万円（執行率 86.4％）

上段：予算現額　下段：支出済額（執行率）

総務費（徴税、住民登録など）	45億7721万円	36億6998万円（80.2％）
民生費（福祉の充実など）	217億3766万円	201億4407万円（92.7％）
衛生費（健康、ごみ処理など）	34億7807万円	30億 972万円（86.5％）
土木費（道路、公園の整備など）	39億3144万円	19億5422万円（49.7％）
消防費（災害対策など）	15億1245万円	13億4670万円（89.0％）
教育費（学校、スポーツ、文化など）	52億9541万円	47億 384万円（88.8％）
公債費（借金の返済）	21億3113万円	19億8079万円（92.9％）
その他（議会、農業、商工など）	6億7641万円	6億2749万円（92.8％）

※前年度からの繰越事業費（7億6188万円）を含みます。

積立基金（貯金）

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源不足の場合や、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金などで運用しています。現在高は表1のとおりです。

表1　積立基金（貯金）

		現在高
一般会計	財政調整基金	39億8984万円
	特定目的基金	66億2526万円
特別会計		26億 957万円
合計		132億2467万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金（家計でいう貯金など）
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金（家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など）

市有財産

市が保有する土地や建物などの財産は図2のとおりです。

図2　市有財産

土地
56万3311㎡（学校・公園ほか）

建物
22万948㎡（学校・市庁舎ほか）

貸付金
1億円（土地開発公社）

出資による権利
1億2294万円（昭島市育英会ほか）

市債（借金）

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要です。その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借り入れを行っています。現在高は表2のとおりです。

表2　市債（借金）

		現在高（元金の残高）
一般会計	建設事業債	94億9366万円
	赤字地方債	107億9943万円
下水道事業会計		49億3628万円
合計		252億2937万円

※建設事業債＝学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※赤字地方債＝財源の不足を補うための借入金

市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額と、それに対して市が行う市民サービス費用、また、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図3のとおりです。

なお、市民サービス費用は一般会計の支出額のことで、市税負担額との差額は、国・都からの支出金などで賄われています。

図3　市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

30年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。

【市民1人当たり】		【1世帯当たり】
16万8499円	市税負担額	35万5557円
33万 565円	市民サービス費用	69万7537円
11万6773円	貯金	24万6407円
22万2774円	借金	47万 83円

※30年3月31日現在の人口は11万3251人、世帯数は5万3670世帯です。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。

各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

表3　29年度特別会計　歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額（収入率）	支出済額（執行率）
国民健康保険	143億6520万円	130億3932万円（90.8％）	125億9790万円（87.7％）
介護保険	84億5966万円	83億8036万円（99.1％）	76億8815万円（90.9％）
後期高齢者医療	22億7017万円	22億6399万円（99.7％）	22億5425万円（99.3％）
下水道事業	28億8504万円	24億4276万円（84.7％）	22億8118万円（79.1％）
中神土地区画整理事業	3億1126万円	2億4866万円（79.9％）	2億6751万円（85.9％）
合計	282億9133万円	263億7509万円（93.2％）	250億8899万円（88.7％）

※中神土地区画整理事業は、前年度からの繰越額（1900万円）を含みます。

行財政の健全化に向けて

29年度は保育所の運営費などの扶助費が増加しました。また、東中神駅自由通路等整備事業など大規模建設事業が行われ、（仮称）教育福祉総合センター整備事業に着手しました。

30年度には引き続き（仮称）教育福祉総合センター整備事業、富士見丘小除湿温度保持機能復旧工事などの大規模建設事業が予定されています。

30年度においても、さまざまな財政需要に対応するため、基金の取り崩しと赤字地方債の借り入れにより12億7000万円の財源不足を補わなければならず、引き続き厳しい財政状況にあります。

このような中でも市民サービスの維持・向上を図るため、行財政改革推進プランの取り組みを着実に進め、「入るを量りて出ずるを制す（※）」を基本とし、更なる行財政の健全化と持続可能な財政運営に努めます。

☆詳しくは、財政課へ。

（※収入を計算して、それによって支出を計画すること）